

第 85 回応用物理学会秋季学術講演会
ランチョンセミナー

2024. 9. 18 (水) 11:50 ~ 12:30
会場 : B2

大規模言語モデルは 何処まで研究に使えるのか？

— GPT-4 とオープンモデルの最近の動向



富山 歓

東京工業大学
物質理工学院
助教

近年、GPT-4 を契機として大規模言語モデル (LLM) が世界的な注目を集めている。LLM は自然言語処理分野に革新をもたらし、外国語理解・作文、プログラミングなど、明確な規則や経験則が適用可能な領域では既に実用的なツールとなっている。これらのタスクにおいて、LLM は大規模テキストデータから獲得した言語知識と文脈理解能力を活用し、高精度な自動化を実現している。2024 年現在、学術研究分野における LLM の活用事例は限定的であるが、専門領域向けのモデルカスタマイズに関する研究開発も急速に進展している。本セミナーでは、広く知られる GPT-4 に加え、パラメータが公開されているオープンソースモデルの最新動向を概観する。さらに、現在および将来的な LLM の研究現場での具体的な応用可能性について考察を行う。本発表を通じて、LLM が学術研究にもたらす潜在的な影響と、効果的な活用方法について議論したい。

STAM Methods

Science and Technology of Advanced Materials: Methods

<講師プロフィール>

2018 年 早稲田大学 先進理工学研究科 博士
(工学)、西出・小柳津研究室

同年 早稲田大学 応用化学科 講師 (任期付)、
同研究室

2023 年 東京工業大学、物質理工学院、助教
、早川・難波江研究

Supported by



Taylor & Francis
Taylor & Francis Group